



» オープン コンプライアンス プログラム

## FOSSology プロジェクト

概要と考察

.....  
By Bob Gobeille, Hewlett-Packard

A White Paper By The Linux Foundation  
<http://www.linuxfoundation.org>

FOSSology (<http://fossology.org>) は、ライセンスと著作権情報を検出できるオープンソース コンプライアンス ツールセットです。FOSSology システムに供されるすべてのファイルは、ファイル リポジトリに保存されて スキャンされ、その結果がデータベースに登録されます。Web ユーザー インタフェースに結果が表示され、さらに、データベースとファイル リポジトリが、今後のスキャンやデータ マイニング用に保存されます。

## 背景

Hewlett Packard (HP) のリーガル オフィスでは、1990 年代の初めから、オープンソース ライセンス コンプライアンスとライセンス両立性の問題に関する助言を行っています。2001 年には、オープンソース ライセンス コンプライアンスに加え、オープンソース コントリビューションにおける企業の知的財産保護も保証するために、特別なチームが編成されました。HP が使用するオープンソース ソフトウェアの量は膨大であるため、スキャンング ソフトウェアが必要であることがすぐにわかり、2003 年には、“Nomos” というカスタム ライセンス スキャナーが開発されました。Nomos という名前は、“法”を表すギリシャ語 (ギリシャ神話の法の守護神) にちなんで付けられたもので、これが FOSSology の起こりです。

FOSSology は、スキャン結果とスキャンされたソフトウェアを保存し、複数のスキャナーを統合することにより、ライセンス コンプライアンス業務の効率を高める次世代ツールセットになりました。HP 社製品の 80% 以上がオープンソース ソフトウェアを利用する今日の状況において、「効率性」は、これまでになく重要なものです。

2007 年 12 月 18 日、HP 社は、FOSSology を GPL v2 ライセンスの下でオープンソース プロジェクトとしてリリースしました。その目的は、アップストリーム プロジェクトやディストリビューションがライセンス問題を早期解決するために利用可能なソフトウェアをオープンソース コミュニティに提供すること、および、自社製品にオープンソース ソフトウェアを使用するすべての企業のライセンス コンプライアンス業務を簡略化することです。

今日、FOSSology は、オープンソース ライセンス コンプライアンス チーム、ディストリビューション、リーガル オフィスをはじめ、多くの組織で使用されています。

この FOSSology プロジェクトの名前は、フリー & オープンソース ソフトウェア (FOSS) の研究を促進するというプロジェクトの目的を表しています。FOSSology は、ソフトウェア解析のフレームワークを提供しています。また、ライセンスや著作権情報の検出、パッケージ ファイルの文法解析、およびファイルやパッケージの分類を行うツールを提供しています。DVD の iso ファイルから個々のファイルまで、スキャンに供されたすべてのファイルは、FOSSology ファイル リポジトリに保存されます。またその結果は、SQL データベースに保存されます。供されたすべてのファイルは、バイナリ ファイルも残らずスキャンされます。ファイル リポジトリとデータベースの組み合わせで 1 つの記録になり、ここで「どのライセンスと著作権情報がパッケージ X に入っているのか」、「このパッケージの最新バージョンには、ライセンスが追加されたのか」を確認することができます。このような活動が、ライセンス コンプライアンスと IP レビューの出発点になります。

次のセクションでは、FOSSology の機能を簡単に説明し、FOSSology バージョン 1.2 を使って例を示します。バージョン 1.2 では、著作権情報、電子メール アドレス、URL を検出するスキャナー、debian パッケージ データ や rpm パッケージ データを構造化されたデータベース テーブルに保存するためのパッケージ スキャナー、さらに各自のオープンソース ポリシーの基準に基づいてファイルを分類する機能などが追加されました。詳細なリリースノートについては、<http://fossology.org> を参照してください。

# FOSSology の使用

## インストール

FOSSology をインストールするには、ファイルのインストール、Web サーバー (Apache) の構成、およびデータベース サーバー (PostgreSQL) の起動が必要です。FOSSology のインストールおよび実行方法の詳細については、プロジェクトの Web サイト (<http://fossology.org/download>) を参照してください。

Debian パッケージ、yum リポジトリ、およびソースからのインストール方法が提供されています。

FOSSology をインストールする場合は、各自の解析を実行するツールのみインストールし、自分のソフトウェアリポジトリを作成してください。<http://repo.fossology.org> にはリードオンリーの fossology デモ サーバーがありますが、インストール後に作成される fossology リポジトリは空になります。このデモ サーバーのリポジトリには、すでに数多くの FOSS プロジェクトがロードされています。

## ホームページ

FOSSology は、コマンドラインやダイレクトなデータベース クエリで自動化できますが、ユーザーの多くは、Web UI を使用します。

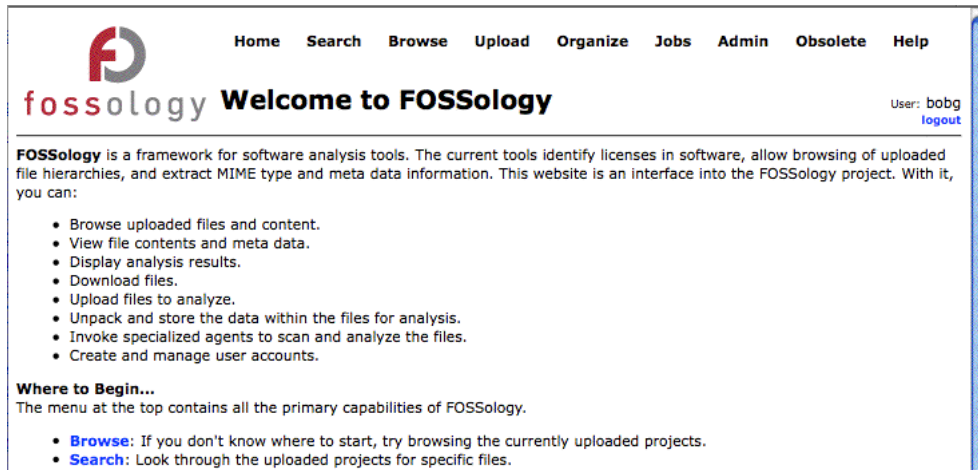


図 1. ローカル サーバーにインストールした後の FOSSology のホームページ (管理者メニューが表示されている)

## 解析のタイプ

FOSSology でスキャンを実行する際には、単発解析 (one-shot analysis) と通常解析 (conventional analysis) のどちらかを選択することができます。

### 単発解析 (one-shot analysis)

単発解析では、スキャン対象である 1 つのファイルを (Web UI やアプリケーションを経由して) HTTP POST します。FOSSology ファイル リポジトリやデータベースにまったく触れることなく、ファイルが解析され、検出されたライセンスの名前や著作権情報が返されます。このファイルは FOSSology ファイル リポジトリやデータベースに追加されないため、他のローカル ユーザーは、この解析結果を参照できません。単発解析の場合は、tar ファイルや jar ファイルのように解凍が必要なアーカイブ ファイルは解析できません。

## 通常解析 (conventional analysis)

通常解析では、アーカイブ ファイルでも (ディスク イメージも可)、シングル ソース コード ファイルでも解析できます。ファイルが解析されると、検出されたライセンス名は Web ブラウザ インタフェースを介してユーザーに返されます。また、解析されたファイルはファイル リポジトリに追加され、解析結果はデータベースに書き込まれるため、他のユーザーも参照できます。同一内容のファイルは、異なる入力ソースから読み込まれても再スキャンされません。

## FOSSology へのファイルの読み込み

FOSSology はさまざまな解析ファイル読み込みメソッドに対応しています。

- コマンドライン インタフェースから
- FOSSology サーバーから
- Web ブラウザのファイル選択ウィンドウから
- 解析するファイルの URL を指定し、URL 経由で

たとえば、ダウンロード URL を指定して、MythTV ソース コード パッケージをサーバーにアップロードし、ライセンス検出を選択します (図 2)。

Home Search Browse Upload Organize Jobs Admin Obsolete Help

fossology Upload from URL User: bobg  
logout

This option permits uploading a file from a remote web or FTP server to FOSSology. The file to upload must be accessible via a URL and must not require human interaction such as login credentials.

1. Select the folder for storing the uploaded file: Software Repository
2. Enter the URL to the file:  
http://www.mythtv.org/download/mythtv/0.23.1  
**NOTE:** If the URL requires authentication or navigation to access, then the upload will fail. Only provide a URL that goes directly to the file. The URL can begin with HTTP://, HTTPS://, or FTP://.
3. (Optional) Enter a description of this file:
4. (Optional) Enter a viewable name for this file:  
**NOTE:** If no name is provided, then the uploaded file name will be used.
5. Select optional analysis
  - Schedule Bucket Analysis
  - Schedule Copyright/Email/URL Analysis
  - Schedule MIME-type Analysis
  - Schedule Metadata Analysis (not needed for license analysis)
  - Schedule Nomos License Analysis
  - Schedule Package Analysis
  - Schedule Spec File Analysis (deprecated)
  - Schedule bSAM License Analysis (deprecated)

Upload!

図 2. URL ポインターを介して、MythTV パッケージを FOSSology にアップロードする

これは、ファイルの通常解析の例です。次のような処理が行われます。

- アップロードされた圧縮ファイル (mythtv-0.23.1.tar.bz2) が解凍され、コンポーネント ファイルとなり、FOSSology ファイル リポジトリに保存される
- 解析が実行される
- 結果はデータベースに書き込まれ、そのサーバー上のすべての FOSSology ユーザーから参照可能となる

その後、FOSSology のスキャン対象に同じファイルがアップロードされても、繰り返しスキャンされることはありません。なぜなら前回のスキャン結果は FOSSology データベースに保存されており、さらにすべてのコンポーネント ファイルの内容のハッシュ (sha1.md5.size) が FOSSology ファイル リポジトリに保存されているからです。このファイル命名規則のもとでは、同一内容を持つファイルは重複して保存されません。

## 解析の実行

ファイルを読み込んだ後、要求されたスキャンは自動的にキューに入り、バックグラウンドで解析が実行されます。スケジューラーは実行するジョブを記録し、FOSSology のインストールが複数のホストに対して構成されている場合は、より高速な処理を行うためにタスクを並列処理します。

## ライセンス スキャンの結果を表示する

図 3 は、アップロードされたサンプル パッケージの解析結果を表したものです。解析された bz2 圧縮ファイルには、32 種類のライセンスを持つファイルが含まれています。“Show” のリンクをクリックすると、それぞれのライセンスを持つとみなされたソース ファイルを参照することができます。



# fossology Nomos License Browser

User: bobg  
[logout](#)

Folder: **Software Repository/**

**0.23.1/** mythtv-0.23.1

[Bucket Browser](#) | [Copyright/Email/URL](#) | [Browse](#) | [Nomos License](#) | [Nomos License List](#) | [Nomos License List Download](#) • [bsam License](#) | [License Tree](#) | [License Groups](#) • [Refresh](#)

Count	Files	License Name	
1682	<a href="#">Show</a>	No License Found	<b>AUTHORS</b> <a href="#">[View]</a> <a href="#">[Info]</a> Non-commercial! <a href="#">[Download]</a>
1333	<a href="#">Show</a>	LGPL_v2.1+	<b>bindings/</b> GPL_v2 ,No License Found
243	<a href="#">Show</a>	GPL_v2+	<b>config/</b> <b>configure</b> <a href="#">[View]</a> <a href="#">[Info]</a> GPL-possibility ,LGPL_v3-possibility <a href="#">[Download]</a>
79	<a href="#">Show</a>	Misc-Copyright	<b>contrib/</b> Authorship-inference ,GPL ,GPL-possibility ,GPL_v2 ,GPL_v2+ ,No License Found ,No-warranty ,See-doc(OTHER)
66	<a href="#">Show</a>	GPL_v2	<b>COPYING</b> <a href="#">[View]</a> <a href="#">[Info]</a> GPL_v2 <a href="#">[Download]</a>
37	<a href="#">Show</a>	Non-commercial!	<b>database/</b> No License Found
34	<a href="#">Show</a>	GPL	<b>docs/</b> (C)Easy-SW ,GPL ,No License Found ,Non-commercial! ,Non-profit! ,Public-domain-claim ,See-doc(OTHER) ,UnclassifiedLicense
27	<a href="#">Show</a>	LGPL_v3+	<b>FAQ</b> <a href="#">[View]</a> <a href="#">[Info]</a> No License Found <a href="#">[Download]</a>
20	<a href="#">Show</a>	MIT-style	<b>filters/</b> (C)GPL ,GPL ,GPL_v2+ ,LGPL_v2+ ,Misc-Copyright ,No License Found
17	<a href="#">Show</a>	Authorship-inference	<b>i18n/</b> No License Found ,Non-commercial! ,See-file(README)
9	<a href="#">Show</a>	GPL-possibility	<b>keys.txt</b> <a href="#">[View]</a> <a href="#">[Info]</a> No License Found <a href="#">[Download]</a>
7	<a href="#">Show</a>	LGPL_v2+	<b>libs/</b> Authorship-inference ,Beerware ,GPL ,GPL-possibility ,GPL_v2 ,GPL_v2+ ,GPL_v2.1 ,GPL_v2.1+ ,GPL_v2-possibility ,GPL_v2+2
6	<a href="#">Show</a>	GPL_v2:v3	
5	<a href="#">Show</a>	No-warranty	
4	<a href="#">Show</a>	JPEG/netpbm	
4	<a href="#">Show</a>	Public-domain-claim	
4	<a href="#">Show</a>	See-doc(OTHER)	
3	<a href="#">Show</a>	Possible-copyright	
3	<a href="#">Show</a>	UnclassifiedLicense	
2	<a href="#">Show</a>	(C)GPL	
2	<a href="#">Show</a>	GPL_v2-possibility	
2	<a href="#">Show</a>	LGPL_v2	
2	<a href="#">Show</a>	Non-profit!	
2	<a href="#">Show</a>	QPL	
2	<a href="#">Show</a>	RSA-Security	

図 3. mythtv ライセンス検出の結果 (一部分)

たとえば、“LGPL\_v3+”ライセンスの“Show”リンクをクリックすると、その27個のファイルにGPL v3以降のライセンス告知が含まれていることがわかります。

Home Search Browse Upload Organize Jobs Admin Obsolete Help

fossology List Files for License

User: bobg [logout](#)

27 files found (27 unique) with license **LGPL\_v3+** [Show All](#)

1 2 ... [Next]

File	Nomos Licenses found
1: <a href="#">Exclude this file type.</a> Folder: <b>Software Repository/0.23.1/ mythtv-0.23.1/ libs/ libmythdhomerun/ hdhomerun_channels.c</b>	LGPL_v3+
2: <a href="#">Exclude this file type.</a> Folder: <b>Software Repository/0.23.1/ mythtv-0.23.1/ libs/ libmythdhomerun/ hdhomerun_channelscan.c</b>	LGPL_v3+
3: <a href="#">Exclude this file type.</a> Folder: <b>Software Repository/0.23.1/ mythtv-0.23.1/ libs/ libmythdhomerun/ hdhomerun_channelscan.h</b>	LGPL_v3+
4: <a href="#">Exclude this file type.</a> Folder: <b>Software Repository/0.23.1/ mythtv-0.23.1/ libs/ libmythdhomerun/ hdhomerun_channels.h</b>	LGPL_v3+
5: <a href="#">Exclude this file type.</a> Folder: <b>Software Repository/0.23.1/ mythtv-0.23.1/ libs/ libmythdhomerun/ hdhomerun_config.c</b>	LGPL_v3+
6: <a href="#">Exclude this file type.</a> Folder: <b>Software Repository/0.23.1/ mythtv-0.23.1/ libs/ libmythdhomerun/ hdhomerun_control.c</b>	LGPL_v3+
7: <a href="#">Exclude this file type.</a> Folder: <b>Software Repository/0.23.1/ mythtv-0.23.1/ libs/ libmythdhomerun/ hdhomerun_control.h</b>	LGPL_v3+
8: <a href="#">Exclude this file type.</a> Folder: <b>Software Repository/</b>	LGPL v3+

図 4. GPL\_v3 以降のライセンスを持つファイルのリスト

最初のファイル `hdhomerun_channels.c` をクリックすると、そのソース ファイルの内容 (図 5) が表示されるので、リーガル チームが結果を確認できます。



Folder: Software Repository/

0.23.1/ mythtv-0.23.1/ libs/ libmythdhdhomerun/ hdhomerun\_channels.c

Nomos One-Shot | One-Shot Copyright/Email/URL • Nomos License | View | Info | View Copyright/Email/Url • Hex | Text | Formatted • Reanalyze | bsam License | bsam One-Shot | Recompare • Refresh

The Nomos license detector found: LGPL\_v3+

```
/*
 * hdhomerun_channels.c
 *
 * Copyright © 2007-2008 Silicondust USA Inc. <www.silicondust.com>.
 *
 * This library is free software; you can redistribute it and/or
 * modify it under the terms of the GNU Lesser General Public
 * License as published by the Free Software Foundation; either
 * version 3 of the License, or (at your option) any later version.
 *
 * This library is distributed in the hope that it will be useful,
 * but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of
 * MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU
 * Lesser General Public License for more details.
 *
 * You should have received a copy of the GNU Lesser General Public
 * License along with this library. If not, see <http://www.gnu.org/licenses/>.
 *
 * As a special exception to the GNU Lesser General Public License,
 * you may link, statically or dynamically, an application with a
 * publicly distributed version of the Library to produce an
 * executable file containing portions of the Library, and
 * distribute that executable file under terms of your choice,
 * without any of the additional requirements listed in clause 4 of
 * the GNU Lesser General Public License.
 *
 * By "a publicly distributed version of the Library", we mean
 * either the unmodified Library as distributed by Silicondust, or a
 * modified version of the Library that is distributed under the
 * conditions defined in the GNU Lesser General Public License.
 */
```

図 5. ファイルには LGPL v3 以降のライセンス告知がある

## 著作権情報、電子メールアドレス、URL のスキャン結果の表示

IP コンプライアンス チームは、ライセンスのほか、IP 所有権の識別に役立つ著作権情報、電子メールアドレス、URL などの情報を確認することができます。



1	Show	(C) 1996 , 1997 , 1998 , 1999 , 2000 , 2001 , 2002 , 2003 , 2004 , 2005 , 2006 , 2007 , 2008 Markus Franz Xaver Johannes Oberhumer
1	Show	(c) 1997 99 by H.
2	Show	(c) 1998 , 1999 by Joerg Walter and (c) 1999 by Wim Taymans
2	Show	(C) 1998 Justin Schoeman (justin@suntiger.ee.up.ac.za)
2	Show	(C) 2001 .
1	Show	(c) 2001 Fabrice Bellard
1	Show	(c) 2001 Fabrice Bellard 2007 Marc Hoffman
1	Show	(c) 2001 Tim Ferguson
1	Show	(C) 2001 Tim Ferguson
2	Show	(c) 2002 , 2003 Thor Sigvaldason ,
1	Show	(c) 2002 2008 Erik de Castro Lopo
1	Show	(c) 2002 by Felix Buenemann atmosfear
1	Show	(c) 2002 by Leon van Stuivenberg
1	Show	(c) 2002 Fabrice Bellard
1	Show	(C) 2004 Romain Dolbeau
1	Show	(C) 2008 David Greenhouse daveg
3	Show	(c) :
3	Show	(c) Bitstream
1	Show	(c) c
2	Show	(c) CRI
1	Show	(c) define REAL_YSCALEYUV2PACKED1
1	Show	(c) description.de
1	Show	(c) get_byte
2	Show	(c) IQ
2	Show	(C) Justin Schoeman 1998 (justin@suntiger.ee.up.ac.za)
1	Show	(c) memchr
2	Show	(C) opyright 2003 , Debabrata Banerjee
1	Show	(c) Rolf Hakenes
1	Show	(c) Roman Hochleitner roman@mars.tuwien.ac.at NuppelVideo
1	Show	(c) Roman HOCHLEITNER Usage : nuvplay
1	Show	(c) Roman HOCHLEITNER Usage : nuvrec
1	Show	(C) Stuart Auchterlonie stuarta
1	Show	(C) t
1	Show	(c) void

Find: bits    Next    Previous    Highlight all    Match case    Phrase not found

図 6. 著作権情報スキャンの結果

FOSSology の v 1.2 の著作権情報/電子メールアドレス/URL スキャナーは、図 6 のように、偽陽性を多く検出します。これは今後のリリースで改善されるでしょう。図 6 に Bitstream という著作権情報が表示されています。この “Show” をクリックすると、その著作権情報を持つ 3 つのフォント ファイルが表示されます。この例からも、なぜ FOSSology がライセンスや著作権を「含んでいそうな」ファイルだけでなく、すべてのファイルをスキャンするのかがわかります。

## バケット

バケットは、各自の条件に基づいてファイルレポートを作成するメソッドです。たとえば、貴社のライセンスコンプライアンス チームは、図 3 のライセンス一覧に「良い」「悪い」の評価をつけたいと思うかもしれません。

図7は、図3のライセンス表示と同じファイルをシンプルにバケット表示したものです。

The screenshot shows the FOSSology Bucket Browser interface. At the top, there is a navigation menu with links: Home, Search, Browse, Upload, Organize, Jobs, Admin, Obsolete, Help. The FOSSology logo is on the left, and the user 'bobg' is logged in on the right. The main content area shows the current folder path: 'Folder: Software Repository/0.23.1/mythtv-0.23.1'. Below this, there is a table for 'Bucket Pool: GPL Demo bucket pool' with columns 'Count', 'Files', and 'Bucket'. The table lists two buckets: 'GPL Licenses (Demo)' with 1729 files and 'non-gpl (Demo)' with 1863 files. To the right of the table is a list of files and directories, each with links for [View], [Info], and [Download]. The list includes: AUTHORS (non-gpl (Demo)), bindings/ (GPL Licenses (Demo), non-gpl (Demo)), config/ (configure (GPL Licenses (Demo)), contrib/ (GPL Licenses (Demo), non-gpl (Demo)), COPYING (GPL Licenses (Demo)), database/ (non-gpl (Demo)), docs/ (GPL Licenses (Demo), non-gpl (Demo)), FAQ (non-gpl (Demo)), filters/ (GPL Licenses (Demo), non-gpl (Demo)), i18n/ (non-gpl (Demo)), keys.txt (non-gpl (Demo)), libs/ (GPL Licenses (Demo), non-gpl (Demo)), mythtv.pro (non-gpl (Demo)), programs/ (GPL Licenses (Demo), non-gpl (Demo)), README (non-gpl (Demo)), and settings.pro (non-gpl (Demo)).

図7. バケットの概念のデモ

FOSSology にプリインストールされているデモ バケットは、これだけです。あまり有用ではないかもしれませんが、各自でユニークなものを作成してください。たとえば Fedora プロジェクトは、ライセンスの分類方法がわかるように、“Good Licenses” や “Bad Licenses” というバケットを使用しているかもしれません。

また、“SHIP-HOLD Licenses” (出荷保留ライセンス) や “packages with significant licenses not mentioned in the package header” (パッケージ ヘッダーで言及されていない重要なライセンスを持つパッケージ) などのバケットを定義する人もいます。

バケットの定義の難易度をたどって言うなら、正規表現の記述と同じくらいシンプル、あるいは、バケットの中にファイルがあるかどうかチェックするスクリプトやプログラムと同じくらい複雑です。

# FOSSology プロジェクト

FOSSology は Hewlett Packard が自社で使用するために始めたものですが、現在は、HP の社内外の開発者が参加するオープンソースプロジェクトです。今後の予定、資料、およびプロジェクトの詳細については、<http://fossology.org> を参照してください。

The screenshot shows the FOSSology website interface. On the left is a navigation sidebar with sections for 'FOSSology', 'Users', 'Developers', and 'SysAdmins'. The main content area features a search bar, the site's logo and tagline 'Advancing open source analysis and development', and a news article titled 'FOSSology 1.2.0 released July 8, 2010'. Below the article is a diagram illustrating the system architecture, showing a 'WEB GUI' connected to a 'Database' and 'Repository', which in turn connect to 'Agents'.

図 8. <http://fossology.org>

## FOSSology の制約

幸い、FOSSology は現存するアクティブなプロジェクトであるため、これらの問題は今後のバージョンで解決されるでしょう。しかし、最新バージョン (1.2) の時点では、次のような点が制約として考えられます。

- FOSSology スキャンの中央リポジトリが存在しない。オープンソースコードのスキャン済みライブラリを作成したい FOSSology ユーザーは、みな各自でそれを作成しなければならない。実際、配布時の FOSSology には、空のデータベースとファイルリポジトリしか付属していない。
- スキャンされたすべてのファイルは、FOSSology ファイルリポジトリに保存される (Web api を介してスキャンに供されたものは除く)。通常ならば、これは良いことだが、バージョン管理システムにとっては、ディスクスペースをかなり無駄遣いすることになる。
- FTP ディレクトリを FOSSology に再帰的にインポートできない。
- 認証機能に制約があり、グループアクセス制御機能がない。8段階のユーザーアクセス制御 (読み出し専用、アップロード、分析など) があるが、アップロードされたファイルはすべて、そのシステムの他のユーザーに可視である。
- ライセンスを追加するには、C 言語のコードに追加しなければならない。これは非常に面倒である。
- ライセンススキャナーは、ライセンスのフィンガープリントを検索するが、そのフィンガープリントがファイルのどこにあるかを記録しない。また、フィンガープリントを使用すれば正確だが、もし著者によって共通ライセンスやライセンス告知が変更されていても、報告しない。
- FOSSology は法務的な助言を提供しない。たとえば、ファイルやプロジェクトにライセンス違反の可能性があることを報告しない。ただしこれを制約だと考えるのは一部の人間であり、私たちは法務的な助言を提供する予定はない。
- コードクローン検出機能がない。このため、もし誰かがあるファイルのクローンを作成し、オリジナルのライセンスを削除しても、ライセンススキャナーは、そのクローンを検出できない。
- バイナリとソースパッケージを照合する機能がない。つまり、バイナリパッケージだけをスキャンした場合、その中にあるライセンスしかわからない。ソースパッケージ内のライセンスを検索するような、補助的オプションはない。もちろん、そのソースが自分のリポジトリ内にあれば、ソースパッケージライセンスを検索することはできるが、手作業で行わなければならない。
- Microsoft 社製の一部のインストールファイル (.msi など) を Linux サーバー上で解凍できない。このため、それらがスキャン対象のファイル群として認識されず、1つのバイナリファイルとして処理される。

## FOSSology の開発に参加するには

FOSSology はオープンソースプロジェクトですので、<http://fossology.org/> サイトから、誰でも参加できます。新しいソースコードの提出、文書作成、バグ報告、拡張機能の提供、テスト、FOSSology に関する記事の投稿、カンファレンスでの講演など、さまざまな形で参加できます。FOSSology は継続的な機能向上に取り組んでおり、[http://fossology.org/task\\_list](http://fossology.org/task_list) で公開されています。ぜひこの機会に FOSSology の活動に参加してください。

## 作者について

Bob Gobeille は、FOSSology プロジェクトの創設者であり、Hewlett Packard 社の Open Source Program Office に在籍しています。連絡先アドレスは、[bobg@fossology.org](mailto:bobg@fossology.org) です。

## The Linux Foundation について

The Linux Foundation は、Linux の成長促進に取り組む非営利のコンソーシアムです。2007年に設立された The Linux Foundation は、Linux 開発者である Linus Torvalds の活動を支援し、世界中の Linux ならびにオープンソース関連の企業や開発者に支援されています。The Linux Foundation は、重要な各種のワークグループ、イベント、Linux.com などのオンラインリソースを運営し、Linux の普及促進、保護、ならびに標準化に取り組んでいます。The Linux Foundation の詳細については、<http://www.linuxfoundation.org> (英語) または <http://www.linuxfoundation.jp> (日本語) を参照してください。また、ツイッターで <http://www.twitter.com/linuxfoundation> および [http://twitter.com/Linux\\_Fdn\\_JP](http://twitter.com/Linux_Fdn_JP) をフォローしてください。

# オープンコンプライアンスプログラムについて

The Linux Foundation のオープンコンプライアンスプログラムは、業界唯一の中立かつ包括的なソフトウェアコンプライアンス構想です。コンプライアンスコミュニティのメンバーやリーダーのリソースを整理することにより、オープンソースソフトウェアを広く普及させるために必要な個人、企業、および法務的要素を結集すると同時に、法務関連のコストや FUD (不安や懸念) を低減します。オープンコンプライアンスプログラムは、包括的なトレーニングや情報資料、オープンソースツール、オンラインコミュニティ (FOSSBazaar)、ベストプラクティスチェックリスト、企業のコンプライアンスオフィサーの即時告知用名簿 (rabid alert directory)、製品で使用しているソフトウェアを一様に認識およびレポートするための標準規格などを提供します。オープンコンプライアンスプログラムは、コンプライアンス分野の専門家による主導のもと、Adobe、AMD、ARM Limited、Cisco Systems、Google、HP、IBM、Intel、Motorola、NEC、Nokia、Novell、Samsung、Software Freedom Law Center、Sony Electronics などの企業・組織により支えられています。詳細については、下記のページをご覧ください。

<http://www.linuxfoundation.org/programs/legal/compliance> (英語)

<http://www.linuxfoundation.jp/programs/legal/compliance> (日本語)

The Linux Foundation は  
Linux の普及促進、保護、ならびに標準化に取り組み  
Linux がクローズドなプラットフォームに対抗するのに必要とされる  
統合されたリソースとサービスを提供します。

The Linux Foundation、オープン コンプライアンス プログラム  
およびその他の活動については、  
<http://www.linuxfoundation.jp/> を参照してください。

